

一、本組合ハ我國海運ノ健全ナル發達ヲ企圖シ至誠、貫海員トシテノ素質及ヒ資格ヲ充實シ以テ海員ノ幸福、生活ノ安定及ヒ地位ノ向上ヲ計ルヲ以テ目的トシ公正、穩健、妥當、飽達紳士的ニ此ノ目的ヲ遂行スヘク苟モ輕舉妄動ヲ爲サ、ルコトヲ以テ根本信條トシ之レニ依リテ組合ノ綱領及ヒ定款ヲ制定スルヲ

二、創立委員ハ全力ヲ舉ケテ一致協同シ本組合ノ成立及ヒ發展ニ對シ誠意アル努力ヲ捧ケ敢テ私心ヲ挾ミ若クハ個人的感情ニ因テラ組合ノ目的並ニ利益ニ反スルカ如キ行動ヲ爲サ、ルコト

三、創立委員タル各團體ノ幹部ハ組合ノ發會式前日迄ニ各自ノ舊團體ノ事務ヲ完全ニ結了シ之レヲ解散スヘク組合ハ之等舊團體ノ權義ニツキテハ一切無關係タルヘキコト

四、組合長ハ組合ノ代表者トシテ定款及ヒ其ノ他規則ニ定ムル所ニ從ヒ組合ノ事業一切ニ關シ實際上ノ權限ヲ委任セラルヘク特ニ創立ニ當リテハ綱領、定款、規則ノ立案、役員ノ任命、配置、給料額ノ決定等ニ關シ全權ヲ委任セラルヘシ

五、創立準備中ハ總テ組合ニ關スル協議會ニ際シ組合長若クハ其ノ代理ハラ座長トシ萬事多數決ニ依リ採決シ可否同數ナルトキハ座長ノ決ニ從フヘキコト

六、組合ノ役員ハ組合ノ目的ヲ遂行スルニ當リ其ノ綱領ヲ實踐躬行シ苟モ人格及ヒ言動ニ關シ社會ノ指彈ヲ受ケ一般會員ノ信用ヲ傷ケ組合事業ノ發展ヲ阻碍スルカ如キコトアルヘカラサルコト

七、組合ノ經濟ハ差當リ現在ノ確實ナル收入ヲ基礎トシ其ノ内ニ割以上ヲ絕對的ニ積立テ其ノ殘額ヲ

以テ支辨シ得ヘキ程度ニ於テ役員ノ報酬及ヒ經費ヲ定メ決シテ他ヨリノ借款、起債等ニ依頼スヘカラサルコト

八、組合ノ役員及ヒ事務員ノ給料ハ現在ノ確實ナル收入金ノ内ヨリ事務費及ヒ機關雜誌ノ經費ヲ控除シタル殘額ヲ以テ割當ツヘキコト

九、組合本部ハ神戸ニ設置シ機關雜誌モ又神戸ニ於テ發行スヘキコト

十、本部及ヒ支部乃至出張所間並ニ各役員間ノ關係ハ組合定款以下規則ノ定ムル所ニ依リ完全ナル秩序ト協調トヲ保持スヘク苟モ獨斷專行ノ振舞アルヘカラサルコト

我等日本帝國普通海員全部ノ爲ニ其ノ唯一團體タル本組合ヲ創立スルニ當リ互ニ赤誠ヲ披瀝シテ右ノ條々ヲ遵守シ毫モ違背セザラムコトヲ定メ茲ニ神明ニ誓ヒ各自ノ名譽ヲ賭シテ相約ス

大正十年四月 日

於日本海員組合創立事務所

日本海員組合創立委員

以下逆名捺印

誓約書

海員同盟友愛會代表者 何 謹

拙者儀 會ヲ代表シ日本海員組合創立シタルトキハ必ス本會ヲ解散シ之レニ合同スヘキコトヲ誓約ス